

# 平成20年度 一般会計 補正予算 2,994万円

平成20年9月定例会を9月4日から24日までの日程で開いた。小城市税条例の一部を改正する条例、19年度一般会計決算認定、20年度一般会計補正予算など28議案が提出された。19年度決算認定については特別委員会を設置し、議会閉会中の継続審議となったが、それ以外の諸議案については、原案どおり可決した。

## 人権擁護委員 候補者を推薦

平成20年12月31日をもって任期満了となるため、後任者を推薦する。



堤 敏昭氏

## 主な事業

### 消防施設・設備 維持管理事業

(90万円)

- 消防水利標識の設置 13箇所
- 立石・寺浦水防施設フェンスの修繕 2箇所を整備する。



▶ 古くなりわかりづらくなった消防水利標識

## 三日月庁舎を 耐震調査

(606万円)



▲三日月庁舎

役所は、地震や洪水などによる自然災害に備え、防災・危機管理拠点、あるいは災害復旧拠点としての役割を担っている。三日月庁舎は今後本庁舎として利用することが決定しているが、現行の耐震基準設定以前に建設された庁舎であることから、現状の耐震強度を把握するもの。

## 納税のための 電子システムを導入

(503万円)

平成21年度10月分から全ての市町村において個人住民税の公的年金からの特別徴収が実施される。そのためには、公的年金の支払機関とのデータの送受信する必要があるため、電子申請支援システム(エルタックス)を整備する。

## ケアホームの重度障がい者支援体制を強化

(71万円)

重度障がい者に対して食事介助や入浴介助時などに複数の生活支援員を配置し適切な支援を実施するために必要な経費の一部を助成する。



## 学校給食で地産地消

(60万円)

学校給食において、副食の材料に県産農林水産物を利用する「ふるさと食の日」を設定し、食材費の一部を助成する。



▶ 昨年度実施された「ふるさと食の日」では、海苔・みかんなど小城市産のものが取り入れられた

## 施設園芸農家を支援 (原油高対策)

(420万円)

園芸栽培施設のエネルギー利用効率を高め、加温に用いる燃油使用量を低減するための装置、資材などの導入補助。